

# 平成30年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

都市計画課

# 平成30年度公共事業再評価諮問箇所一覧表

No.	事業名	事業箇所 (地区名)	事業年度	進捗率 (H24) (H29)	対応方針
1	公園整備交付 金事業	県立吉野ヶ里歴史 公園	(前回:H5~H27) (今回:H5~H33)	(H24:83%) (H29:96%)	継続

# 都市公園事業のB/Cの考え方

## 費用対効果 B/C

○総便益(B):「直接利用価値」及び「間接利用価値」により計測  
(内訳)

◆**直接利用価値【旅行費用法】**

公園利用者は、公園までの移動費用をかけてまでも公園を利用する価値があると認めているという前提のもとで、公園までの移動費用(料金、所要時間)を利用して公園整備の価値を貨幣価値で評価する方法  
(直接的に公園を利用することによって生じる価値)

◆**間接利用価値【効用関数法】**

公園整備を行った場合と行わなかった場合の周辺世帯のもつ望ましさ(効用)の違いを貨幣価値に換算することで公園整備を評価する方法  
(環境の維持・改善、景観の向上や防災に役立つ価値)

○総費用(C):吉野ヶ里歴史公園整備に要する「事業費」「維持管理費」を対象  
(内訳)

◆**事業費:公園整備に要する施設費・用地費(公園整備費交付金事業費)**

◆**維持管理費:公園施設更新、補修等に要する費用(公園整備費)**

○費用対効果(B/C):総便益(B)/総費用(C)